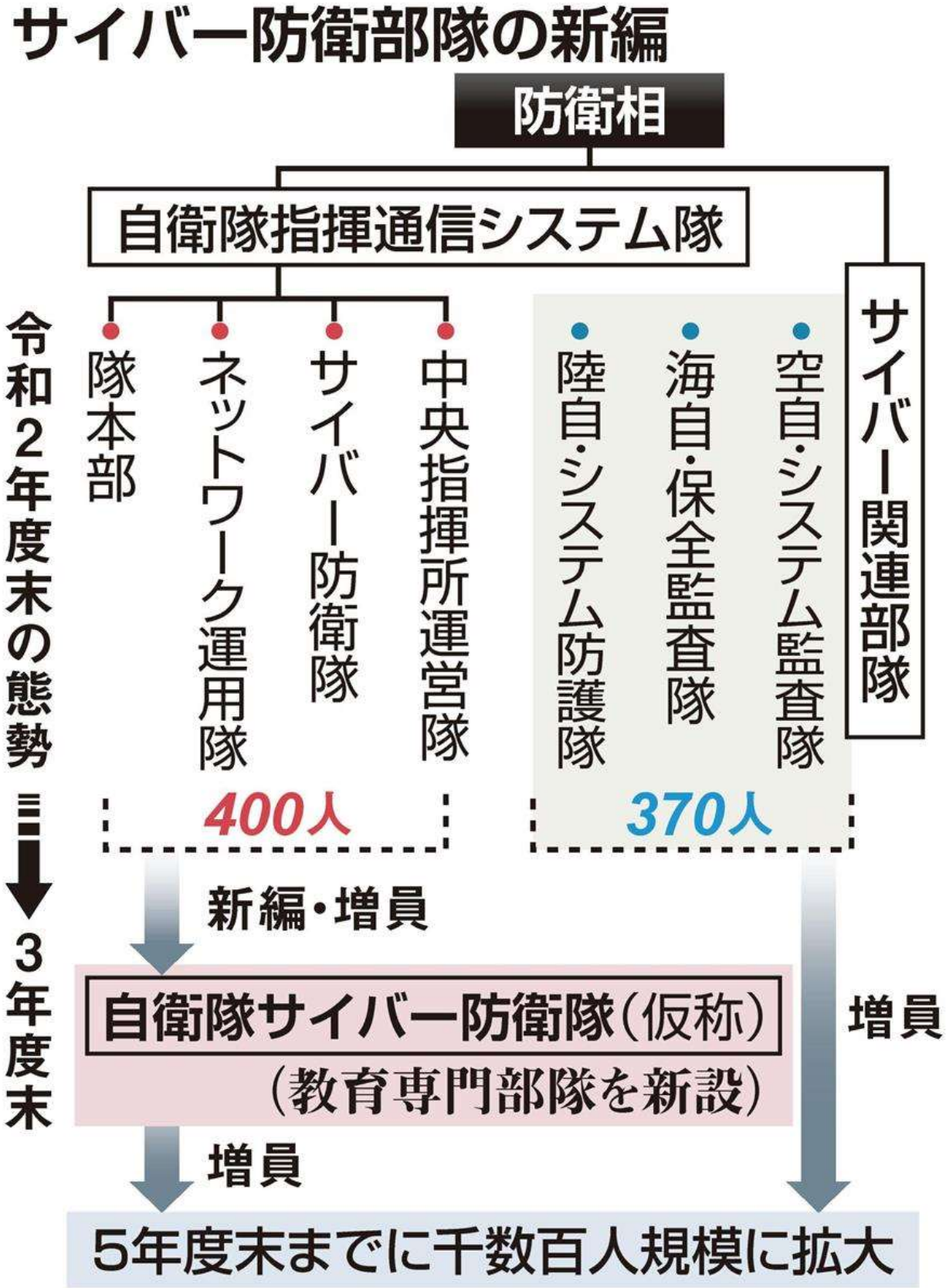
「自衛隊サイバー防衛隊」は何をやろうとしているのか

2022 年 2 月 6 日　木元茂夫(すべての基地に「No!」を・ファイト神奈川)



1.自衛隊のサイバー部隊の増強は急ピッチ

22 年度防衛予算ではサイバー関連経費　342 億円を計上

●サイバー攻撃へ対処する技術の研究 24 億円　装備品等に対するサイバー攻撃発生時における被害拡大防止やシステムの運用継続を図るため、対処能力向上に資する技術の研究を実施

●陸上自衛隊の全システムの防護、監視、制御等を一元的に行うシステムネットワーク管理機能の整備に 64 億円

●サイバー分野における部外力の活用に関する調査・研究　38 億円　（民間企業の技術の利用）

●サイバー演習環境の整備　12 億円

2.「サイバー攻撃等対処」の訓練が、市ヶ谷と横須賀で実施された。

海自と米海軍が最も警戒するのは、海上での通信、データリンク(高速度・大容量の通信、ミサイルや戦闘機、艦艇の位置情報などのやり取り)がサイバー攻撃によって妨害され、無力化することだろう。

アメリカ海軍の場合、トマホーク巡航ミサイル(最大射程 1,650km)は、衛星誘導に依拠している。

■令和３年１０月１２日　海上幕僚監部（お知らせ）

日米共同訓練（サイバー共同対処訓練）について

海上自衛隊は、サイバーセキュリティに関する日米共同対処能力を強化すべく、日米共同によるサイバー攻撃等対処訓練及び意見交換を実施しました。

１ 目 的　　海上自衛隊のサイバーセキュリティに関する技量の向上及び米海軍サイバー対処部隊との相互運用性の向上を図る。

２ 期 日　　令和３年１０月８日（金）

３ 訓練場所　海上自衛隊保全監査隊（市ヶ谷地区）

４ 参加部隊　（１）海上自衛隊：海上自衛隊システム通信隊群　（中央システム通信隊、横須賀システム通信隊及び保全監査隊）

（２）米 海 軍：米海軍ＮＩＯＣ－Ｙ

（U.S. Navy Information Operation Command Yokosuka）←横須賀の部隊

５ 訓練項目　サイバー攻撃等対処

■令和３年１２月２０日　海上幕僚監部（お知らせ）

日米共同訓練（サイバー共同対処訓練）について

海上自衛隊は、日米同盟の抑止力・対処力を強化すべく、次のとおり米海軍と共同訓練を実施しました。

１ 目 的　　海上自衛隊のサイバーセキュリティに関する技量の向上及び米海軍サイバー対処部隊との相互運用性の向上を図る。

２ 期 日　　令和３年１２月１６日（木）・１７日（金）

３ 訓練場所　　米海軍横須賀基地

４ 参加部隊　（１）海上自衛隊：海上自衛隊システム通信隊群保全監査隊

（２）米 海 軍：米海軍ＮＩＯＣ－ＨＡＷＡＩＩ　Ｎ３Ｊ部　←ハワイの部隊

（U.S. Navy Information Operation Command-Hawaii N3J 部）

５ 訓練項目　サイバー攻撃等対処　　以上